

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)			延長保育利用人数 (延人数)				一時保育 (延人数)	園庭開放他 (延人数)
										30分延長	1時間延長	1.5時間延長	2時間延長		
令和3年度 事業報告	85 人	1号	15 人	972 人	1号	72 人	1号	40 %		280 人	0 人	0 人	0 人	0 人	150 人
		2,3号	70 人		2,3号	900 人	2,3号	107 %							
令和4年度 事業計画	85 人	1号	15 人	996 人	1号	60 人	1号	33 %		120 人	0 人	0 人	0 人	200 人	100 人
		2,3号	70 人		2,3号	936 人	2,3号	111 %							
令和4年度 事業報告	85 人	1号	15 人	950 人	1号	72 人	1号	40 %		114 人	2 人	0 人	0 人	194 人	77 人
		2,3号	70 人		2,3号	878 人	2,3号	105 %							

法人基本 運営方針	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の 尊重	《保育理念》 ・人は大切、子は宝 《保育方針》 ・豊かな人間性を育む。 《保育目標》 ・元気いっぱい遊ぶ子ども ・友だちいっぱいできる子ども ・挨拶きちんとできる子ども ・命大事にできる子ども ・創意工夫のできる子ども	・自然との関わり、生命尊重 野菜、花の栽培(自分、人、物を大切に する気持ちを育む) ・異年齢児保育の実施：週2回 (思いやり、社会性、協調性を育む) ・一人一人を大切に した保育 ・主体性を尊重し、個々の 気持ちを受け止める：自己肯定感を 育む(1日1ほめ) ・虐待防止と早期発見 (チェックリスト年3回) ・権利擁護の実践と研修 (チェックリスト年2回)	・異年齢児保育の実施 (グループ活動：週2回) ・虐待チェックリスト (年3回) ・権利擁護チェックリスト (年2回) ・権利擁護研修 (年1回)	・異年齢児のグループ活動を週2回実施した。1年間テーマに沿った保育を行い、2月には令和3年度に実施する事が出来なかったグループ発表会を行う事が出来た。グループ発表会では次年度からグループに入る2歳児クラスも観覧する機会を作り、たくさんの保護者の方に異年齢児の関りを見て頂く事が出来た。 ・権利擁護のチェックリストを実施。(12月、3月実施) ・権利擁護、虐待についての園内研修実施。(7月、12月)	・令和2年度から続けている3歳児から5歳児クラスのグループ活動を、令和5年度からは異年齢児のグループ保育を縦軸に生活する。新しい生活の流れとなるため、子どもも保護者も安心出来るよう、今まで以上に丁寧な関わりを心掛ける。 ・不適切な保育が起こらないためにも、職員間で声を掛け合える環境を作る。令和4年度は権利擁護や虐待についての園内研修を実施したが、令和5年度は外部の講師を招き、考える機会を作りたい。
	・保育内容・質の向上を図る。 ・職員の質の向上を図る。 ・保護者との連携	・保育環境の見直し (年齢にあう手作りおもちゃ) ・園内研修の充実 【危機管理・権利擁護・保育内容指導計画・ムーブメント・体育遊び】 ・キャリアアップ研修の受講 ・行事や懇談会等を通して子どもの育ちを共有 ・認定こども園自主点検・自己評価リスト実施(年2回)	・保育環境の見直し ・行事の見直し ・リスクマネジメントの強化 (ヒヤリハット会議：月1回) ・年度末に保護者への保育のアンケート実施	・月1回ヒヤリハット会議を行い、保育内容や保育環境の見直しを行った。 ・行事は年間を通して新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、保護者参加型の内容に見直し、実施する。 ・日々先輩職員が指導しながら保育内容を伝える機会を設けていたが、園内研修を十分に行う事が出来なかった。	・グループ保育が縦軸となるため、子どもたちにとって安心且つ安全な環境づくりを行う。月1回のヒヤリハット会議は継続して行い、保育内容や保育環境の見直しを定期的に話し合う場を設ける。 ・令和4年度は保育内容についての研修を十分に行う事が出来なかった。令和5年度は年間の予定に日程を汲み入れるとともに、委員会の職員が中心となり園内研修の企画を行う事が出来るよう改善する。
	・地域に開かれた施設づくりを目指す。 ・多様な主体の連携・協力 ・地域との共同	・子育て事業の強化 育児相談(年12回)、体験保育(年4回) 子育て広場(年48回) ・心理士による育児相談(月1回) ・小学校、中学校との交流会 ・5歳児町探検 ・地域清掃(年3回)園周辺(月1回) ・「ほっとかへんネット」地域との連携 ・ふれあいまちづくり協議会、主任児童員との連携及び交流	・子育て事業の強化 子育て広場 (年48回開催) ・一時保育の受け入れ実施 ・心理士による育児相談 (年間12回実施) ・児童館への出張保育(年3回) ・地域清掃 園周り (月2回) 護国神社清掃 (年1回)	・一時保育の受け入れを積極的に行い、年間17名登録して下さった。一時保育の受け入れや子育て広場の実施、児童館への出張保育を通して、地域の方と触れ合う機会が増え、地域の方の声を聞きやすい環境を作ることが出来た。	・心理士による育児相談に地域の方も来れるようになった。月1回の個別相談日以外に心理士を招いて、地域の方や保護者が育児の不安を相談、共有できる場を年2回設ける。 ・卒園した小学生を招いて交流できる機会を作ることで、卒園しても安心して園に立ち寄ることが出来る基盤を作る。
	・人材育成に努め、働きやすい職場を目指す。	・新任教育を行い、丁寧に指導する ・事務時間を確保し、業務改善を行う ・有給休暇を計画的に取るようにし、取得率を上げる	・事務時間の確保 ・有給休暇取得率アップ(65%) ・職務内容毎に教育者を割り振り、新任職員教育を行う	・新任職員が多く、担当配置に合わせて新任教育を行うよう努め、新任職員も安心して質問する姿が見られた。後半は、業務内容の確認や、事務時間、休憩時間の確保を先輩職員が考えて行動する場面が多かったため、新任職員も自主的に行動できるよう努めた。	・新任職員が2年目となるため、指導を受けるだけでなく、自主的に行動出来るよう指導の仕方を工夫する。 ・業務内容、有給取得状況、事務作業内容等見える化し、協力できる体制を整えることで、働きやすい環境を作る。

令和4年度 行事実施報告

月	行 事 名	実施の有無	月	行 事 名	実施の有無
4	入園お祝い会	有		お楽しみ会(5歳児)	有
5	ひまわり苗植え遠足(5歳児)	有		芋ほり遠足(4, 5歳児)	有
6	田植え体験(5歳児)	有	11	kobeっこ親善ラグビー大会(4, 5歳児)	有
	じゃがいも掘り(5歳児)	有		親子であそぼう(2歳児)	有
	保育参加週間(3, 4, 5歳児)	有		よいこのつどい(5歳児)	有
7	個別懇談会	有	12	クリスマス会	有
8	個別懇談会	有	1	保育参加週間(0, 1, 2歳児)	有
9	お茶会	無	2	グループ発表会(3, 4, 5歳児)	有
10	運動会(3, 4, 5歳児)	有	3	卒園お祝い会(5歳児)	有
	稲刈り体験(5歳児)	有	※保護者参加・地域参加並びに費用発生のための 行事を記載		
	お祭りごっこ	有			

訓練の実施状況

訓練名 \ 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難消火	19日	18日	22日	19日	23日	22日	4日	25日	21日	30日	22日	15日
防犯 【不審者】		18日						28日				
災害 【地震】	26日									17日		
災害 【土砂】			9日				11日					
災害 【風水害】				27日								
緊急事態 発生訓練				15日 SIDS 20日 水遊び	16日 熱中症	20日 アレルギー	20日 転落事故					8日 熱性痙攣

※土砂災害警戒区域の為、土砂災害の避難訓練を年2回実施。